

## 検査部

## Clinical Laboratory Center

部長（併 教授）	北島 勲	Isao Kitajima
副部長（助教）	仁井見英樹	Hideki Niimi
臨床検査技師長	宇治 義則	Yoshinori Uji
副臨床検査技師長	奥田 忠行	Tadayuki Okuda
副臨床検査技師長	桑原 卓美	Takumi Kuwabara
主任臨床検査技師	林 史朗	Shiro Hayashi
主任臨床検査技師	吉田 郁子	Ikuko Yoshida
主任臨床検査技師	柴 則子	Noriko Shiba
主任臨床検査技師	谷 みね子	Mineko Tani
主任臨床検査技師	野手 良剛	Ryugo Note
臨床検査技師	坂本 純子	Junko Sakamoto
臨床検査技師	川島 猛志	Takeshi Kawashima
臨床検査技師	角田 美鈴	Misuzu Kakuda
臨床検査技師	佐竹伊津子	Itsuko Satake
臨床検査技師	細谷 孝子	Takako Hosoya
臨床検査技師	多賀由紀子	Yukiko Taga
臨床検査技師	成瀬 里恵	Rie Naruse
臨床検査技師	上野 智浩	Tomohiro Ueno
臨床検査技師	扇谷 晶子	Akiko Oogiya
臨床検査技師	森田 未香	Mika Morita
臨床検査技師	延野 真弓	Mayumi Nobeno
臨床検査技師	尾川 智美	Tomomi Ogawa

## ◆ 著 書

- 1) 北島 勲, 木村裕三, 廣川慎一郎訳:「メルボルン大学式統合型 PBL、コア臨床症例から基礎病態生理へ」,Core Clinical Cases in Basic Biomedical Science. A problem-based learning approach. Samy A. Azer 著, エルセビア・ジャパン, 東京, 2007.
- 2) 北島 勲: 神経・筋疾患. 「知っておきたい臨床検査値」日本薬学会編), 東京化学同人, 東京, 132-135, 2007.

## ◆ 原 著

- 1) Higa S, Tokoro T, Inoue E, Kitajima I, and Ohtsuka T: The active zone protein CAST directly associates with ligand of Numb protein X. Biochem Biophys Res Commun, 354: 686-692, 2007.
- 2) Motomura H, Niimi H, Sugimori K, Ohtsuka T, Kimura T, and Kitajima I: Gas6, a new regulator of chondrogenic differentiation from mesenchymal cells. Biochem Biophys Res Commun, 357: 997-1003, 2007.
- 3) Tokoro T, Higa Onaga S, Deguchi-Tawarada M, Inoue E, Kitajima I, and Ohtsuka T: Localization of the active zone protein CAST, ELKS, and Piccolo at neuromuscular junctions. Neuroreport, 18: 313-316, 2007.
- 4) Wang J, and Kitajima I: Pitavastatin inactivates NF- $\kappa$  B and decreases IL-6 production through Rho kinase pathway in MCF-7 cells. Oncology Report, 15: 1149-1154, 2007.
- 5) Matsuda N, Hatakeyama N, Shakunaga K, Sugano M, Kitajima I, Yamazaki M, and Hattori Y: Silencing of caspase-8 and caspase-3 by RNA interference prevents vascular endothelial cell injury in septic mice. Cardiovascular Res, 76: 132-140, 2007.
- 6) Suzuki S, Singhirunnusorn P, Mori A, Yamaoka S, Kitajima I, Saiki I, and Sakurai H: Constitutive activation of TAK1 by HTLV-I Tax-dependent overexpression of TAB2 induces activation of JNK-ATF2 but not IKK-NF- $\kappa$  B. J. Biol. Chem., 282: 25177-25181, 2007.
- 7) Niimi H, Pardali K, Vanlandewijck M, C-H Heldin, and Moustakas A.: Notch signaling is necessary for epithelial growth arrest by TGF- $\beta$ . The Journal of Cell Biology, 26: 176: 695-707, 2007.

- 8) Motomura H, Niimi H, Sugimori K, Otsuka T, Kimura T, and Kitajima I: Gas6, a new regulator of chondrogenic differentiation in mesenchymal cells, *Biochem and Biophys Res Commun*, 15; 357: 997-1003, 2007
- 9) 前場良太, 宇治義則, 姫野真悟, 原 博, 高尾康介, 竹中英樹, 吉村中行, 岡崎具樹, 木下 誠, 寺本民生: キャピラリー等速電気泳動法によるリポ蛋白分析のメタボリックシンドロームの臨床診断に於ける有用性生物試料分析 30: 150-156, 2007.
- 10) 野手良剛, 扇谷晶子, 山岸萌子, 森田未香, 多賀由紀子, 坂本純子, 吉田郁子, 大門良男, 仁井見英樹, 北島 勲: 薬剤耐性遺伝子の検出と遺伝子型別法の臨床応用, 富山県臨床衛生検査技師会誌 32: 35-44, 2007.

#### ◆ 総 説

- 1) 北島 勲, 尾川智美, 谷みね子: わが国で開発された血栓症急性期を捉える血液凝固分子マーカー, 可溶性フィブリン (S F) / フィブリンモノマー複合体 (FMC) .医報とやま 1422: 8-10, 2007.
- 2) 北島 勲, 山口桂司, 尾川智美, 谷みね子: 可溶性フィブリン (S F) とフィブリンモノマー複合体 (FMC) 試薬間による乖離検討と各検査の有用性について.T T Mフォーラム 6: 53-63, 2007.
- 3) 榛澤和彦, 土田桂蔵, 北島 勲: 新潟県中越地震被災者循環器外来患者のD V Tと血液凝固マーカーについて.T T Mフォーラム 6: 71-73, 2007.
- 4) 北島 勲: 血栓と循環の検査法. トロンビン生成目安としての TAT と fibrin monomer 測定法とその意義. 血栓と循環 15: 126-133, 2007.
- 5) 北島 勲: 病院検査室で実践できる分子病態検査法開発, 転写因子活性化検査の臨床応用に向けて. 臨床病理 55: 262-271, 2007.
- 6) 北島 勲: N F -  $\kappa$  B 研究の新展開. 臨床化学 36(3): 249-250, 2007.

#### ◆ 学会報告

- 1) Tokoro T, Beppu H, Moriguchi S, Shioda N, Fukunaga K, Nishijo H, Niimi H, Ohtsuka T, En Li, and Kitajima I: The analysis of ATRX mutant mice as a model of mild mental retardation. 2007 Keystone Synposia Epigenetics. 2007, 4,15, Cororado, USA.
- 2) Motomura H, Sugimori K, Kimura T, and Kitajima I: GAS6, New regulator of chondrogenic diffrentiation in mesenchymal cells. 53<sup>rd</sup> Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society. 2007, 2, 11-14, San Diego, USA
- 3) Tokoro T, and Kitajima I: Proof of "SHO" in Rheumatoid Arthritis by cDNA array analysis. Innovantive Team Program in Peking University-21<sup>st</sup> Century COE program in University of Toyama Joint Symposium. 2007, 6, 25, Biejing, China.
- 4) Kitajima I, and Tokoro T: In search of Chinese Medicine showing molecular pharmacology efficacy against rheumatoid arthritis. Innovantive Team Program in Peking University-21<sup>st</sup> Century COE program in University of Toyama Joint Symposium. 2007, 6, 25, Biejing, China.
- 5) Kitajima I: Molecular role of tumor angiogenesis in hepatoma cells through constitutive interleukin-8 expression. 12<sup>th</sup> World congress on Advantages in Oncology and 10<sup>th</sup> Internatinal Symposium on Molecular Medicine, October11-13, 2007, Crete, Greece. (Invited lecture)
- 6) Niimi H, and Moustakas A: Notch signaling is necessary for epithelial growth arrest by TGF- $\beta$ , International Conference"Phosphorylation, Signaling and Disease", 2007, 5, 16-20, Cold Spring Harbor Laboratory, USA.
- 7) 北島 勲: 血栓症急性期を反映する凝血分子マーカー探索とその臨床応用, 第7回分子血管研究会, 2007, 1, 5, 大阪. (招待講演)
- 8) 北島 勲: 冷えと痛みに由来する骨・関節疾患に対する漢方薬の探索とその薬理機序の解明, 富山県漢方薬講演会, 2007,1, 23, 富山. (招待講演)
- 9) 北島 勲, 尾川智美, 谷みね子, 三崎智範, 加畑多文: 股関節手術の術中・術後における凝血分子マーカー変動と DVT・PE 発症の関係一選択的X a 阻害剤の発症予防効果の検討一 第7回T T Mフォーラム, 2007, 3, 10, 東京.
- 10) 北島 勲: 血栓症急性期を反映する凝血分子マーカーについて, 第22回中部地区血液検査研修会, 2007, 3, 11, 富山. (招待講演)
- 11) 鳴河宗聡, 安岡 彰, 野手良剛, 舟田 久: DNA 直接比較による MRSA 伝播経路解析の検討, 第81回日本感染症学会総会, 2007, 4, 10-11, 京都.
- 12) 奥田忠行: 血液ガスの精度管理, 第50回日本医学検査学会, 2007, 5, 15-19, 宮崎.
- 13) 北島 勲: 転写因子活性化解析法の新たな確立と臨床検査への応用, 第26回日本臨床化学会夏期セミナー, 2007, 7, 6,

伊勢志摩. (招待講演)

- 14) 北島 勲: 凝固線溶分子マーカーの臨床応用—フィブリンモノマー複合体と各種血栓症について—, 第8回日本検査血液学会学術集会ランチョンセミナー, 2007, 7, 21, 福井. (招待講演)
- 15) 北島 勲: 遺伝子の不思議, 富山県民の健康を考える会市民公開講座, 2007, 8, 12, 富山.
- 16) 北島 勲, 所 崇, 仁井見英樹, 引網宏彰: cDNAマイクロアレイを用いた関節リウマチにおける証の検証と漢方薬の分子薬理機構解明, 富山大学21世紀COEプログラムシンポジウム, 2007, 11, 16, 富山.
- 17) 北島 勲, 仁井見英樹, 所 崇, 林 史朗: 代表的脈診と疾患の関連. 平成18年度科学技術振興調整費. 科学技術に必要な調査研究, 漢方「脈診」診断法のカオス解析と科学化研究報告会, 2007, 3, 16, 鹿児島.
- 18) 北島 勲, 原田健右, 仁井見英樹, 市毛由紀子: 臨床検査実習効果向上を目指した卓上型検査機器活用とその学習評価, 第39回日本医学教育学会大会, 2007, 7, 27, 盛岡.
- 19) 北島 勲: メタボリックシンドロームとは, 平成19年度前期富山大学公開講座, 2007, 8, 4, 富山
- 20) 北島 勲, 野手良剛, 尾川智美, 宇治義則, 仁井見英樹, 阿部滋樹, 門脇正和, 山形浩一: 1分子蛍光相関法を用いた転写因子NF- $\kappa$ B測定による心臓周術期モニターへの応用, 第54回日本臨床検査医学会学術集会, 2007, 11, 23, 大阪.
- 21) 前場良太, 宇治義則, 姫野真悟, 原 博, 高尾康介, 竹中英樹, 吉村中行, 岡崎具樹, 木下 誠, 寺本民生: キャピラリー等速電気泳動法によるリポ蛋白分析のメタボリックシンドロームの臨床診断に於ける有用性 第39回日本動脈硬化学会総会, 2007, 7, 13-15, 大阪.
- 22) 上野智浩, 宇治義則, 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 柴 則子, 野手良剛, 奥田忠行, 北島 勲: 血清中 $\beta$ 2mアミロイド蛋白分析法の評価, 第32回北陸臨床病理集談会, 2007, 9, 8, 金沢.
- 23) 上野智浩, 宇治義則, 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 柴 則子, 野手良剛, 奥田忠行, 北島 勲: キャピラリー電気泳動装置を用いたリポ蛋白の分析法, 第32回北陸臨床病理集談会, 2007, 9, 8, 金沢 2007.
- 24) 延野真弓, 林 史朗, 佐竹伊津子, 細谷孝子, 成瀬里恵, 宇治義則, 北島 勲, 水牧功一: ホルター心電図から求めたHeart rate turbulenceの臨床的意義, 第46回中部医学検査学会, 2007, 9, 29-30, 岐阜
- 25) 尾川智美, 谷みね子, 宇治義則, 北島 勲: 股関節手術中・術後における凝血分子マーカー変動と選択的Xa阻害剤による静脈血栓症の予防効果判定, 第39回日本臨床検査自動化学会, 2007, 9, 26-28, 横浜.
- 26) 野手良剛, 尾川智美, 宇治義則, 仁井見英樹, 北島 勲: 検査部における高度先進医療としての先天性血液凝固異常症遺伝子解析10年の取り組みと今後の展望, 第39回日本臨床検査自動化学会, 2007, 9, 26-28, 横浜.
- 27) 仁井見英樹, 野手良剛, 北島 勲: Real-time PCR法を用いた迅速な敗血症起因菌同定システムの構築に関する研究, 第39回日本臨床検査自動化学会, 2007, 9, 29-28, 横浜.
- 28) 上野智浩, 宇治義則, 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 柴 則子, 野手良剛, 奥田忠行, 北島 勲: フィブリノゲン吸着極細繊維を用いた血清分離後フィブリノゲン再析出阻止器具の評価, 第37回富山県医学検査学会, 2007, 10, 20, 富山.
- 29) 上野智浩, 宇治義則, 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 柴 則子, 野手良剛, 奥田忠行, 北島 勲: キャピラリー電気泳動法を用いたリポ蛋白分析法の評価, 第37回富山県医学検査学会, 2007, 10, 20, 富山.
- 30) 上野智浩, 宇治義則, 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 柴 則子, 野手良剛, 奥田忠行, 北島 勲: 血清中 $\beta_2$ アミロイド前駆体蛋白質の分析法の開発と評価, 第37回富山県医学検査学会, 2007, 10, 20, 富山.
- 31) 北島 勲, 野手良剛, 尾川智美, 宇治義則, 仁井見英樹, 阿部滋樹, 門脇正和, 山形浩一: 1分子蛍光相関法を用いた転写因子NF- $\kappa$ B計測による心臓手術期モニターへの応用, 第54回日本臨床検査医学会学術集会, 2007, 11, 22-25, 大阪.
- 32) 原田健右, 北島 勲, 市毛由希子: 検査測定原理を効果的に実習できるツールへのPOCT対応型小型自動分析器の改造とその学習効果, 第54回日本臨床検査医学会学術集会, 2007, 11, 22-25, 大阪.
- 33) 仁井見英樹, 尾川智美, 扇谷晶子, 野手良剛, 宇治義則, 小澤哲夫, 北島 勲: 高度先進医療としての先天性第VII因子欠乏症遺伝子診断への取り組み—Factor VII Toyamaを中心に—, 第54回日本臨床検査医学会学術集会, 2007, 11, 22-25, 大阪.
- 34) 上野智浩, 宇治義則, 桑原卓美, 川島猛志, 扇谷晶子, 谷みね子, 柴 則子, 奥田忠行, 北島 勲, 本宮善恢, 吉田千晶, 安東由喜雄: 血清中 $\beta$ 2アミロイド前駆体蛋白質分析法の開発, 第54回日本臨床検査医学会学術集会, 2007, 11, 22-25, 大阪.
- 35) 阿部滋樹, 門脇正和, 山形浩一, 北島 勲: 蛍光相関分光法を用いた生体試料中の転写因子迅速測定法の開発, 第54回日本臨床検査医学会学術集会, 2007, 11, 22-25, 大阪.
- 36) 尾川智美\*, 野手良剛, 宇治義則, 仁井見英樹, 前川真人, 北島 勲: 非症候群性頭蓋骨縫合早期癒着症の原因遺伝子検索, 第54回日本臨床検査医学会学術集会, 2007, 11, 22-25, 大阪.
- 37) 野手良剛, 尾川智美, 扇谷晶子, 宇治義則, 仁井見英樹, 北島 勲: 先天性アンチトロンビン欠乏症遺伝子解析に関す

る検討,第 19 回生物試料分析化学会, 2008, 2, 10-11, 大阪.

38) 川島猛志: 症例カンファレンス: DS-AM g KL,第 23 回中部地区血液検査研修会, 2007, 12, 1-2, 静岡

39) 川島猛志: 症例カンファレンス『赤血球の成熟段階からみた貧血』赤芽球瘍: 第 46 回中部医学検査学会, 2007, 9, 29-30, 大垣.

#### ◆ その他

1) 北島 勲: 「ISO15189 講演会」, 2007, 6, 12, 富山.

2) 北島 勲: 公開セミナー「知っ得? 納得!! メタボリックシンドローム」, 2007, 8, 4, 富山.

3) 桑原卓美: 検査部の業務内容,富山大学附属病院 春季医療安全研修会, 2007, 4, 2, 富山.

4) 宇治義則: 検査室の質の保証とは,中部デイドベアリングセミナー, 2007, 7, 14, 富山.

5) 宇治義則: 医療技術職「臨床検査技師」,富山県立富山中部高校進路指導講演会, 2007, 10, 20, 富山

6) 宇治義則: 検査部の質の保証,富山大学附属病院 秋季医療安全研修会, 2007, 10, 16, 富山.

7) 上野智浩: 平成 19 年度 臨床検査精度管理報告,富山県臨床検査技師会一般検査研修会, 2007, 10, 7, 高岡.

8) 上野智浩: 平成 19 年度 一般検査精度管理報告,富山県臨床検査精度管理協議会報告会, 2007, 12, 2, 富山.